

厚生労働省のホームページに「新型コロナウイルス」に関する疑問に答えるQ & A集が掲載されています。その疑問内容の項目は、ワクチンの仕組み／ワクチンの効果／ワクチンの安全性と副反応／私は接種できますか？／接種の見通し／接種を受ける方法／対象者や優先順位／接種後の生活／その他／これは本当ですか？ です。その一部を掲載しましたが、詳しい内容はホームページにアクセスしてください。

Q

ワクチン、予防接種とは何ですか？

A

予防接種とは、感染症の原因となる病原体に対する免疫ができる体の仕組みを使って、病気に対する免疫をつけたり、免疫を強くするために、ワクチンを接種することをいいます。

Q

集団免疫とは何ですか？

A

人口の一定割合以上の人が免疫を持つと、感染患者が出ても、他の人に感染しにくくなることで、感染症が流行しなくなる状態のことです。

Q

筋肉注射とはどのような注射でしょうか。痛いのでしょうか？

A

筋肉注射とは、ワクチンなどの医薬品を皮下脂肪の奥にある筋肉に注射する方法のことを指します。一般的に筋肉注射は皮下注射よりも特別に痛みが強い注射方法ではないと考えられています。

Q

日本で接種が進められている新型コロナワクチンにはどのような効果（発症予防、持続期間）がありますか？

A

日本で接種が行われている新型コロナワクチンは、いずれも、新型コロナウイルス感染症の発症を予防する高い効果があり、また、重症化を予防する効果が期待されています。効果の持続期間や、感染を予防する効果についても、時間の経過や接種者数の増加に伴い、研究が進んでいます。

Q

年齢によって、ワクチンの効果や副反応に違いはありますか？

A

今回のワクチンは高齢者に対しても高い発症予防効果があります。一方、若年者に比べて高齢者の方が少し副反応が出にくいことが分かっています。

Q

ワクチン接種後に新型コロナウイルスに感染することはありますか？

A

ワクチン接種後でも新型コロナウイルスに感染する場合があります。また、ワクチンを接種して免疫がつくまでに1~2週間程度かかり、免疫がついても発症予防効果は100%ではありません。

Q

妊娠中にワクチンを接種した場合、生まれてくる新生児に免疫はつきますか？

A

妊娠中（特に妊娠後期）にワクチンを接種することで、新生児にも抗体が移行する可能性があることが報告されています。

Q

ファイザー社のワクチンとモデルナ社のワクチンの安全性には違いがありますか？

A

いずれも、安全性を確認した上で承認され、世界各国で接種されています。接種後の軽い副反応については、症状ごとの頻度等に多少の違いがみられます。

Q

これまでに認められている副反応にはどのようなものがありますか？

A

注射した部分の痛み、疲労、頭痛、筋肉や関節の痛み等がみられることがあります。まれな頻度でアナフィラキシー（急性のアレルギー反応）が発生します。

Q

副反応は1回目の接種後より2回目の接種後の方が強いのはどうしてですか？

A

1回目のワクチン接種でいくらか免疫がつくことで、2回目の接種の方が、免疫反応が起こりやすくなるため、発熱や倦怠感、関節痛などの症状が出やすくなります。

Q

ワクチンを受けた後に熱が出たら、どうすれば良いですか？

A

ワクチンによる発熱は接種後1~2日以内に起こることが多く、水分を十分に摂取し、必要な場合は解熱鎮痛剤を服用するなどして、様子をみていただくことになります。

Q

ワクチンを受けた後の発熱や痛みに対し、市販の解熱鎮痛薬を飲んでもよいですか？

A

ワクチンを受けた後の発熱や痛みに対し、市販の解熱鎮痛薬で対応いただくことも考えられますが、特に下記のような場合は、主治医や薬剤師にご相談ください。

- ・他のお薬を内服している場合や、妊娠中、授乳中、ご高齢、胃・十二指腸潰瘍や腎機能低下など病気治療中の場合（飲める薬が限られていることがあります。）
- ・薬などによりアレルギー症状やぜんそくを起こしたことがある場合
- ・激しい痛みや高熱など、症状が重い場合や、症状が長く続いている場合
- ・ワクチン接種後としては典型的でない症状がみられる場合

Q

ワクチン接種後に脇のリンパ節が腫れました。注意すべきことはありますか？

A

ワクチン接種後に、接種した側の脇や首などのリンパ節が腫れることがありますが、時間の経過とともに自然に治ります。乳がん検診は、ワクチン接種前に受けるか、ワクチン接種後に受ける場合は、リンパ節が腫れている原因について誤った判定がなされないよう、検診医にワクチン接種を受けたことを伝えると良いでしょう。

Q

アナフィラキシーではどのような症状が出ますか。治療法はありますか？

A

皮膚症状、消化器症状、呼吸器症状が急に起こり、血圧低下や意識レベルの低下を伴う場合もあります。薬の注射などで治療します。

Q

ワクチン接種で新型コロナウイルスに感染することはありますか？

A

ワクチンを接種したことが原因で新型コロナウイルスに感染することはありません。

Q

ワクチン接種後にくも膜下出血や急性大動脈解離が起きたと聞いたのですが、ワクチンとの関連はあるのでしょうか？

A

現時点において、ワクチンを接種した人の方が、接種していない人よりも、くも膜下出血や急性大動脈解離が起こりやすいという知見はありません。くも膜下出血や急性大動脈解離は、偶発的に起こりうることから、ワクチン接種後に起きた場合でも、それだけで、ワクチンが原因で起きたというわけではありません。

Q

ワクチン接種後に血栓症が起きると聞いたのですが大丈夫でしょうか？

A

アストラゼネカ社のワクチンでは、稀に珍しいタイプの血栓症が起きるという報告がありますが、適切な診断・治療方法も報告されています。なお、ファイザー社や武田/モデルナ社のmRNA（メッセンジャーRNA）ワクチンでは、現時点では、同様の血栓症と関連性があると評価された事例は確認されていません。